

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第1回かわちながの森林プラン推進協議会
2 開催日時	令和6年7月18日(木) 午後3時から午後4時40分まで
3 開催場所	河内長野市役所 3階 301会議室
4 会議の概要	・令和5年度かわちながの森林プラン実行プランの実績報告 ・令和6年度のかわちながの森林プラン実行プランについて ・意見交換
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部 農林課 林政係 (内線440)
8 その他	

* 同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和6年度
第1回かわちながの森林プラン推進協議会

令和6年7月18日
301会議室

会議次第

1. 開 会

2. 議 事

案件1 令和5年度かわちながの森林プラン実行プランの実績報告

案件2 令和6年度かわちながの森林プラン実行プランについて

3. 意見交換

4. 閉 会

令和6年度第1回かわちながの森林プラン推進協議会 会議録

【会議名称】 第1回かわちながの森林プラン推進協議会
【開催日時】 令和6年7月18日（木）午後3時00分から午後4時40分まで
【開催場所】 河内長野市役所 3階 301会議室
【出席者】 委員7名
事務局

【会議内容】

1. 開会

委員7名が出席し、設置条例第6条第2項「委員の半数以上が出席」に基づき、会議を開会した。

事務局より市長からの開会挨拶を代読。

地域の7割を森林が占める本市では、これまで先人たちが守り育ててきた人工林の多くが本格的な利用期を迎えている。令和6年度からは森林環境税の徴収が開始され、ご負担いただく貴重な税を効果的に活用し、その成果を積極的に示していくことが重要と考えている。今後も、森林経営管理事業を着実に進めていくとともに、森林ESD事業を市内全小中学校で実施することで、持続可能な森林保全や、林業振興に努めて参りたい。委員の皆様にはそれぞれの観点から忌憚のないご意見をお願いしたい。

2. 議事

（案件1 令和5年度かわちながの森林プラン実行プランの実績報告）

事務局より実行プランの実績報告を説明した。意見については以下のとおり。

A委員：イベント出展について、開催したことの情報公開はどうしているか。また、本件報告でもイベント写真を添付するなど分かりやすくしてほしい。

事務局：開催することに関しては広報しているが、開催した実績は今後ホームページ等に複数事業まとめるなど掲載していく。本件報告でも写真等を添付するようにする。

A委員：森林経営管理制度では意向調査何件で、回答があったのは何件か。

事務局：意向調査アンケートは78件郵送しており、そのうち30件の回答があった。

B委員：森林ESDの取り組みも市の広報やホームページへ掲載すべき。また、勉強会のリーフレットも本件報告で添付すべき。

事務局：森林ESDの授業風景をホームページに掲載することは保護者の同意が必要であり、学校との調整が必要。勉強会は「気候変動と森林の役割」をテーマとした林業基礎勉強会を開催、森林維持をテーマとした現代林業戦略勉強会を開催した。次回からリーフレットも添付した報告としたい。

C委員：ミツバチの生態系観察の活動も広く周知すべき。

事務局：ミツバチは人の気配がすると活動地を変える。保護団体とも協議して広報していきたい。

D委員：森林環境譲与税3千万円の使い方としては毎年使い切りと考える。

事務局：森林環境譲与税は森林経営管理事業と森林ESD事業で活用していく。森林経営管理事業は、意向調査から森林整備の一連の流れが実施できるまで模索しな

がら事業を進めることとなる。

E委員：作業道新設の実績報告があるが、作業道を補修したことも重要な取り組みであり、プランの実績とすべき。

事務局：報告資料の備考欄に補修の実績も掲載するようにする。

F委員：クビアカツヤカミキリが猛威を振るっており、小学校から相談をよく受ける。森林プランで対応はできないのか。

事務局：緑地でも被害が出て伐採されているところがあり、市では施設所管課が個々に対応している。

事務局：森林環境税の環境はカーボンニュートラルの対応としての意味合いである。特定外来生物は環境政策課が薬剤の配布等を行っている。

(案件2 令和6年度かわちながの森林プラン実行プランについて)

事務局より実行プランの年間スケジュールを説明した。意見については以下のとおり。

B委員：他自治体PRでは森林ESD事業のPRも併せて行うとなっているが、具体的に教えてほしい。

事務局：近隣自治体などにPRしており、市外から本市の森林に興味を持っていただけるようアピールしている。遠い自治体ではオンラインで本市の森林を活用したESDが実施されるように取り組んでいきたい。

A委員：森林情報集約化等の実績が2年続けて0件とならないよう、例えば原木しいたけ収穫体験を組み合わせたものなど魅力ある活用方法提案が重要。ただ、プランの目標のハードルが高いのであれば、計画の見直しも考えなければならない。

3. 意見交換

C委員：森林所有者向け勉強会について、林業に従事する者への勉強会も行ってもらいたい。林業事業体間の情報交換の場ともなる。

事務局：林業は死傷者の多い産業のため、安全対策の知識向上等に向けた取組みも必要。

A委員：従事する人を増やす点では、副業で林業をする人への後押しも重要。

4. 閉会

議事がすべて終了し、次回は令和7年2月を目途に開催予定として閉会した。